

基礎茶式

中国茶道研修方法

著者：吳遠之 発行：大益茶道院

四六判・156頁／定価：本体900円(税別) ISBN978-4-7842-1824-0

- ・「惜茶愛人」を主旨として、陸羽の『茶經』をはじめ日本の茶道・台湾茶芸などさまざまな茶文化を研究・実践してきた著者が、中国の茶道「基礎茶式（大益茶道）」を考案。
- ・「基礎茶式」の八つの作法に意味づけられた精神や、作法の手順、ポイントを、多くの挿図とともに紹介・解説する。
- ・「心の良薬」である茶を通じて、芸術を楽しむ心を培い、精神修養を目指す教本となっている。

【2015年10月刊行予定】

◆◆◆ 予定内容目次 ◆◆◆

第一章 茶式総論
第一節 茶式の神韻
第二節 茶式精解
第二章 修持要領
第一節 茶道礼儀
第二節 精進修持
第三章 基礎茶式（実演編）
第一節 茶式概述
第二節 実演編
第四章 基礎茶式（研修編）
第一節 概述
第二節 研修編
附録一 基礎茶式（実演編）解説
二 茶道服装

* 大益八式とは八つの動作の組合せによる基本動作 *

- ①洗塵 両手を清め、心を落ち着け、茶をいれる準備をする。
- ②坦呈 道具を並べ、胸を開いて、誠の心を示す。
- ③蘇醒 道具を温め、湯を注ぎ入れることにより、急須を目覚めさせる。
- ④法度 茶葉を量り取る。何事も適度が大切である。
- ⑤養成 湯が茶を引き立て、色、香りともに立つ。
- ⑥身受 茶が入り、まず自らが試飲する。実践したものが、真を知る。
- ⑦分享 友人たちを招き入れ、共に茶を楽しむ。
- ⑧放下 茶式の終了。茶道具を整理し、次に備える。



.....吳遠之 (Wu Yuan-Zhi)

茶人、大益グループ理事長、大益茶道院及び大益愛心
基金会の創始者。

長きにわたり茶道の学術的な研究と実践に携わり、初めて「惜茶愛人（茶を大切にし、人を慈しむ）」という茶道の精神を唱え、現代における学術文化としての茶道学科の設立と茶道の職業化の振興に力を注ぐ。茶道は心の良薬である篤く信じている。

実演編③蘇醒「醍醐灌頂」挿図

発売：思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
<http://www.shibunkaku.co.jp> E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版	(京都 取引コード 3402)
冊 数	冊	基礎茶式—中国茶道研修方法	本体 900円(税別) ISBN978-4-7842-1824-0
お名前			tel e-mail
ご住所	〒		
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎		



講座 日本茶の湯全史 [全3巻]

茶の湯文化学会編

茶の湯文化学会の創立20周年記念出版。

本講座は、日本文化史の中に位置づけられた茶の湯の展開を、茶の湯文化学会が総力をあげて俯瞰する。

時代を輪切りにしながら見る本編と、茶の湯の重要な要素を通じて見渡す特論からなりたち、さらに各巻には時代別の概説と研究の手引き、参考文献を掲げ、研究課題を提示することで、初学者にはもちろん、さらに深く茶の湯研究を志す人にとってのハンドブック的な要素ももたせる。

最新の研究成果をふまえ茶の湯を通して、まったく新しい概説書。

第1巻(中世) ▶46判・328頁／本体 2,500円
第2巻(近世) ▶46判・370頁／本体 2,500円
第3巻(近代) ▶46判・336頁／本体 2,500円

ISBN978-4-7842-1696-3
ISBN978-4-7842-1697-0
ISBN978-4-7842-1698-7

茶の医薬史 中国と日本

岩間眞知子著

もともと茶は薬であった。日本や中国の歴代医薬書の中には茶の記事があり、そこには茶の効能や処方のほか異名・産地・製法も記され、古辞書や『茶經』『茶譜』など茶書の抜粋も収録されており、非常に貴重な史料である。本書は、中国と日本の医薬書史料の影印を多数収録し、それらの史料から中国・日本の各時代における茶の様相とその歴史的変遷を明らかにする。

【内容】隋代までの医薬書／唐代の医薬書／宋代の医薬書／金・元代の医薬書／明代の医薬書／清代の医薬書／平安時代までの医薬書／鎌倉時代の医薬書／室町・安土桃山時代の医薬書／江戸時代の医薬書（前期・中期・後期）／茶を記した現存最古の薬書史料／『神農本草經』の茶について／煎茶について／養生論の系譜から見た『喫茶養生記』／寒の茶・温の茶

▶A5判・526頁／本体 9,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1463-1

茶の湯と音楽

岡本文音著

室町時代後期から江戸時代初期の千利休による大成という、茶の湯が発展・拡大へと向かう時期の文献をひもときつつ、「音楽」の世界をとおしてみえる茶の湯の美意識を、大きく能楽（第1章）、「峯すり」（第2章）、茶の湯の釜の煮え音「五音ノ湯アヒ」（第3章）、茶の湯空間における音（第4章）という4つのトピックから明らかにする。

▶A5判・376頁／本体 7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1606-2

禅語辞典

入矢義高監修／古賀英彦編著

禅語録中の難解な語句すべて（約5,500）について、平易なことばで解釈を施した画期的な辞典。中国語学研究の第一人者である入矢義高氏監修のもと、古賀英彦氏が10年の歳月を費やして今ここに完成する。いわゆる漢文の語法では読めない口語の解説が備わり、禅宗寺院・茶道家・宗教史研究者は勿論のこと漢文を読むすべての人に必携の書。

▶A5判・600頁／本体 9,500円(税別)

ISBN4-7842-0656-6

日本の食の近未来

熊倉功夫編

飽食の時代と言われる現代日本において、「食の豊かさ」は今後何をもたらすのか？謳歌するだけでよいのか？本書は、このような日本の現代に疑問を感じた八名の研究者が、食文化の近未来について共同研究会を行った成果である。

▶46判・260頁／本体 2,300円(税別)

ISBN978-4-7842-1678-9

茶と室内デザイン

小泉和子編

日本にもたらされた喫茶文化は、室町時代の書院造に収斂され、やがて大名居館に発展すると、一方で侘び茶による草庵風茶室が生まれる。

草庵風茶室は書院造に影響し、数寄屋風書院造になり、和風住宅が設立する。その後、江戸時代の煎茶の流行によりさらに特徴的なデザインが加わり、新しい和風住宅の室内意匠がつくられた。

このように日本的とされる日本住宅の室内デザインはほとんどが茶によって育まれた。

茶が日本住宅の室内意匠にあたえた影響について、それぞれの専門の立場からの論考を収録し、豊富なカラー図版とともに、茶道と室内デザインの関係性を考える一書。

▶B5判・224頁／本体 3,500円(税別)



ISBN978-4-7842-1808-0

茶譜 [全2冊]

谷晃・矢ヶ崎善太郎校訂

茶湯古典叢書5

近世茶書としては最も大部にして体系的なもの一つである茶譜（全18冊）。西尾市岩瀬文庫蔵本を底本として全編活字化。利休・織部・遠州・宗和・宗旦のそれぞれの茶匠とその時代の茶の湯を、確かな情報に基づいて茶の湯の分野ごとに再編集したものである。挿図も別冊の写真版で全て収録。

▶A5判・総924頁／本体 20,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1528-7

国宝油滴天目茶碗と国宝飛青磁花生

伝世の名品

大阪市立東洋陶磁美術館監修／三好和義撮影

大阪市立東洋陶磁美術館が所蔵する「唐物」の名品のなかから7点を選び、写真家三好和義氏の写真により、その魅力を詳細に細部に至るまでカラーの高精細大型図版で紹介。

▶A4判変・64頁／本体 1,905円(税別)

ISBN978-4-9905-6315-8

陽明文庫蔵 舞絵〔舞楽散楽図〕・法隆寺旧蔵 楽器

上野学園日本音楽史研究所編

日本音楽史叢刊1

【舞絵〔舞楽散楽図〕】陽明文庫蔵本は美術史にいまだ知られぬ優品。唐代舞楽・散楽の白描画。陽明文庫蔵本が現存諸本中の祖本。

【楷鼓（かいこ）】康治2年（1144）墨銘の法隆寺旧蔵楷鼓は、世界唯一の伝存楽器。西域より中国を経て日本に将来された。指でこすって音を出す特殊な奏法で知られる。

ISBN978-4-7842-1804-2

▶A4判横綴・130頁／本体 2,700円(税別)

大徳寺伝来五百羅漢図

奈良国立博物館・東京文化財研究所編

卓抜した画技と豊かな彩色を誇る中国南宋時代の仏教絵画を代表する名品「五百羅漢図」。大徳寺所蔵の82幅に、ボストン美術館とフリーア美術館所蔵の12幅、江戸時代の補作6幅も含めた現存する全100幅を大型図版・高精細カラー印刷で紹介。1点1点に画題と解説を付す。最前線の研究者による論文8本も収録。

▶B4判・312頁／本体 50,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1743-4

老舗に学ぶ京の衣食住

西岡正子編

佛教大学四条センター叢書5

京都に百年以上続く老舗の店主・女将が自店の歴史や品物について語る、本物の京都学。【掲載店】二軒茶屋中村楼・松栄堂・祇園辻利・祇をん幾岡屋・嵐山熊彦・龍善堂・半兵衛麩・松文商店・村山造酢・彩雲堂・本家尾張屋本店・上七軒大文字・京つけもの西利・泰生織物・亀末廣・いもばう平野屋本家

▶A5判・242頁／本体 1,900円(税別)

ISBN978-4-7842-1673-4

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。